仕事を楽しむための WEBマガジン B-plus（ビープラス）に掲載中！

エシカル合同会社

自然と人をつなぎ 暮らしに優しさを

三浦　繭久里カフェの店内は、杉のいい香りがしますね。椅子も木製なのに、座り心地がいいです。

鈴木　家具職人が手がけたもので、アーチの角度なども座り心地を考えてつくられています。木材は熱伝導率が低く、人間の体温を奪わないので、肌触りもいいんです。当店は、自然に優しい農業を行う農業生産法人誠農社が営む農場の一角にあり、自然栽培や無農薬栽培で育てられた食材などで、ランチを主に提供しています。でも実は、弊社がメインとしている事業は、先ほど申し上げた低温乾燥杉材の生産と販売のほうなんですよ。

三浦　そうなんですか！　低温乾燥杉材とはどのようなものなのでしょう。

鈴木　通常の杉材は、高温で乾燥させるため、杉の中に含まれる精油をも蒸発させてしまいます。弊社では「愛工房」という特別な乾燥機を用い、45℃の低温乾燥を行うことで、杉の精油成分や酵素を残すことができるんです。

三浦　この店の内装も、低温乾燥杉材でつくられているのですね。他の杉材より香りが深く、かつ居心地がよいように感じたのは、僕の気のせいではなかったんだ。

鈴木　このカフェをつくった目的は、低温乾燥杉材や、それを使った住宅を多くの方に知っていただくこと。エシカル油井ケ島では、「命にいいものを広める」という趣旨で、自然と人とのつながりを提案しています。ですので、漢方農法米の田植えイベントや、関野農園を営む関野幸生先生による無肥料自然栽培の講座なども実施していますよ。

三浦　都心で生活する方々には貴重な体験になりますし、リフレッシュにもなるでしょう。

鈴木　そうですね。弊社が催しているイベントも、県外から多くの方がお越しになります。そうしてこの加須市に人が集まり、地域の魅力を知っていただくことにより、将来的に高齢化や耕作放棄地などの問題の改善にも役立つことができればと考えているんです。約1時間で都内まで移動できますし、都市の利便性も維持しながら、「農ある暮らし」で自給活動も行い、健康的な生活を実現していただきたいですね。

父親が経営していたコンビニエンスストアでオーナーを務め、経営手腕を磨く。その後、低温乾燥機「愛工房」で低温乾燥した杉材の魅力を知り、これを広めたいとエシカル（同）を設立した。その PR 活動の一環として、活動拠点である農場施設、エシカル油井ヶ島内に繭久里カフェをオープン。

社長
鈴木修次郎

×

三浦淳寛
サッカー元日本代表

大分県出身。長崎県立国見高等学校、青山学院大学を経て1994年に横浜フリューゲルスに加入。その後、横浜F・マリノス、ヴィッセル神戸などで活躍した。日本代表では国際Aマッチに25試合出場。シドニーオリンピックにもオーバーエイジ枠で出場している。

［本社］
〒347-0026　埼玉県加須市油井ヶ島1393-1
TEL：049-571-9272
［児玉乾燥工房］
〒367-0217　埼玉県本庄市児玉町八幡山1-1
［ホームページ］http://ethicalgp.com
http://park.ethicalgp.com/（Ethical Park）

詳しくは、ビープラス「経営者インタビュー」にて
B-plus（ビープラス）　仕事を楽しむ　鈴木修次郎　検索